

2020

9月
Vol.22老人保健施設もえぎ 広報紙
もえぎ通信

さんぽ路



発行/北信総合病院老人保健施設もえぎ 発行責任者/下山 丈人 〒383-0015 中野市吉田123-1 TEL.0269-22-7800/FAX.0269-22-8585

新型コロナウイルス感染症防止対策の取り組み



日頃、当施設について皆様方のご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

まだまだ続くコロナ禍で皆様も大変な生活を強いられておられることかと思ひます。

前号に引き続き、これまでの当施設における新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策の取り組みを掲載したいと思ひます。



窓越しによるご面会の様子

※オンラインによる面会も今後実施予定です

ご面会者の体調を確認させて頂き
ご面会をして頂いております(7月時点)

※現在は直接のご面会は控えていただいております

一定の距離を設けてお食事をして頂
いております(通所リハビリテーション)

利用者様への検温



職員による毎日の拭き取り作業 ※その他定期的に換気も実施しています



テレビやSNS等で様々な情報や、時には誹謗中傷が飛び交う中、周囲に振り回されずにしっかりと現状を見極めた行動をとること、信頼して協力し合うことがこの難局を乗り越えていくために非常に大切だと感じております。

新型コロナウイルスの影響で様々な季節の風物詩が中止・延期となり、なかなかゆっくりと季節感を感じることなく日常が過ぎていくようです。先が見えない不安、思うようにいかないことでストレスが溜り、その原因や予先を外部に求めがちですが、そんな時にこそ一旦立ち止まり、周囲の喧騒や雑音に惑わされずに日々を送りたいものです。



今後も職員が出来る限りの感染症予防・拡大防止への取り組みを行っていく予定です。ご利用者・ご家族様・関係各位におかれましては、引き続きご理解・ご協力の程を何卒宜しくお願いいたします。

「介護ロボットの取り組み」

老人保健施設もえぎ 介護福祉士 浅沼邦彦

介護ロボットH A Lは、介護者の腰に装着して中腰姿勢の維持や上体を起こす動作を補助してくれるロボットであり、H A Lを使用することによって腰部への負担を軽減させてくれます。介護の仕事は、一日中身体を動かしていることが多く、疲労も伴い、長年の疲労の蓄積で姿勢への悪影響も考えられます。こうなる前にH A Lを装着し、体への負担を減らせれば良いと考えます。今年度は、デイケアから始まり、順を追って各棟でH A Lの運用を行いたいと計画しております。職員が長い間働き続けるためにも、腰痛などに対する対策のためにも介護ロボットH A Lの使用を広めていきたいと思います。



令和2年度老人保健施設もえぎ防災訓練



今年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、7月29日、31日の二日間に分けて実施となりました。

訓練の内容は火災通報装置及び防災監視盤の取扱手順と消火栓(消火器)の取扱および実演訓練です。

火災などの災害が発生した際は利用者様の安全が確保できるように、これからも訓練に取り組んでまいります。

デイケア利用者様のご家族様よりマスクの寄贈を賜りました。

当施設へのご配慮を頂きましたことに感謝申し上げます。感染予防のために大切に使用させていただきます。



編集
後記

毎日、暑い日が続いていますね。水分補給、睡眠、バランスの摂れた食事などちょっとした事ですが、気を配って体調を崩さないように心がけていきたいですね。暑いので、つつい冷たいものが欲しくなりますが、身体の中を冷やしすぎると秋になって体調を崩す元になります。上手に乗り越えていきましょう。

家族介護教室のお知らせ

日時: 11月14日(土)・15日(日) 10:00~11:00

場所: 1Fエントランスホール

内容: 「福祉用具を取り入れた優しい介護の紹介と体験、介護なんでも相談」

※感染防止対策を実施し開催いたします。